



学校教育目標 心豊かで、自主性に富み、創造的で、未来を切りひらく生徒の育成

校訓 「自主・創造・敬愛」 R2. 2. 18発行 文責 校長 松崎大樹

春の新たなスタートに向けての「0学期」 歩みを止めない「確かな学び」を作り上げるための、より良い習慣作りを!

学年末テスト終了! そして、令和元年度の学校生活も残り1ヶ月となりました。本当に月日が経つのは早いものだと感じる今日この頃です。

さて、3年生のみなさんは、いよいよ公立高校学力検査・卒業・高校進学!と新しいステージへの旅立ちを覚悟する時を迎えています。また、1・2年生にとっては進級、そして自己の進路に対する意識の高まりを感じるこの時期に、「当たり前」のことを続ける大切さについて、改めて、しっかりと目を向けてほしいと思っています。「当たり前」のことを「続ける」ということは難しいことですが、やり続ける勇気を持つと、それは「習慣」になります。そして、「良い習慣」は人を成長させ、高めてくれるからです。

今週からは学年末のテスト結果も徐々にそろそろ頃だとは思いますが、改めて、「テスト前の頑張りだけでは成績を上げるのは難しい...。」と感じている人も少なくはないでしょう。そして、また、テスト返却直後に抱いた「今回の反省を生かして、次のテストこそは頑張ろう!」という思いも、時間と共に徐々に薄れてしまい、次のテストがまたやってくるという経験をしたみなさんも多いのではないのでしょうか...。しかし、この繰り返しでは、学力の向上は期待できません。

確かな学力を身に付けるためには、何よりも「授業を真剣に受けること」として「より良い学習習慣を身に付けること」の両面が重要です。だからこそ、自分自身の学習に取り組む意欲や態度、家庭学習の習慣について、今一度、しっかりと考えてほしいと思っています。


“継続は力なり”という言葉がありますが、私はその継続を“習慣”にすることこそ最も大切なことであり、大きな力になると信じています。そして、その“習慣”が、やがてその人の学力を着実に向上させていき、成功へ導いてくれるものと思います。

授業と家庭学習の両立は極めて重要です。「学校の授業→家庭学習を続ける→学習内容が分かる→学習や授業が楽しくなる→学習や授業への意欲が向上する→学力が伸びる」これがプラスのサイクルです。

3年生にとっても、1・2年生にとっても、今の時期は、春の新たなスタートに向けての大切な準備期間=0学期です。だからこそ、この時期のより良い習慣の定着が、みなさんの一人一人の充実した日々の生活、そして、人生につながっていくのです。

春の新たなスタートに向けてのより良い習慣づくりを、しっかりと心がけていきましょう。

“継続は力なり”という言葉がありますが、その継続を“習慣”にすることこそ最も大切なことであり、大きな力になると信じています。春の新たなスタートに向けての「0学期」歩みを止めない「確かな学び」を続けよう!



チーム大中 思いを力に! (2月号4週目の言葉)



2月7日(金)第2学年「立志式&総合的な学習発表会」を開催! ※裏面にも続きます。

大村中学校区の3小学校の校長先生方、そして多くの保護者、地域の来賓の皆様をお迎えし、厳粛な中にも生徒達の確かな成長を感じられる第2学年「立志式&総合的な学習発表会」を開催できましたことを大変嬉しく思っています。

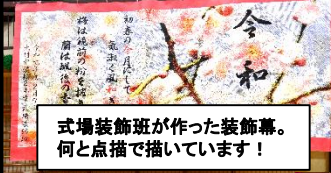
本校における「立志式」は、3年生への進級を控えたこの時期、2年生の一人一人に「自分を支えてくれる多くの方々」に感謝する中で、自分自身がどういう生き方を目指し、何を頑張るのかという「志」を立てることで、これからの生活をしっかりと歩んでほしい。」という願いのもとに開催しています。

第一部の立志式では、福井藩奥外科医・橋本長綱の長男として天保5年(1834年)に誕生した橋本左内が、15才にして執筆した『啓発録』の中から、その骨子となる以下の五項目を誓いの言葉として、生徒代表が力強く発表しました。

1. 去稚心(稚心を去る)
2. 振気(氣を振るう)
3. 立志(志を立つ)
4. 勉学(学に勉む)
5. 択交友(交友を拓ぶ)

また、第二部の総合発表会では、祝舞から始まり、オープニングムービー、職場体験発表、式場装飾・冊子・しおり班からの発表、修学旅行発表、劇と、これまでの学習や取組をもとに、様々な手法を用いて、しっかりと表現してくれました。

2年生のみなさんが、この「立志式&総合的な学習発表会」を機に、自分が立てた「志」をもと、その実現に向けてさらなる躍進を遂げてくれることを願っています。しっかり頑張れ~!!



式場装飾班が作った装飾幕。何と点描で描いています!



「啓発録」より 誓いの言葉

全員合唱「僕らの奇跡」



祝舞班「ソーラン節」



オープニングムービー班

職場体験班



決意の漢字の前で「はいポーズ!」



修学旅行班

劇「マイライフ」で 迫真の演技を行った尾道康太さん

第2学年「立志式を終えて」生徒達が新たな道を歩み始めています・・・。

僕は立志式を終えて、改めて3年生になるということの実感が持てました。誓いの言葉の中でも「雑心を去る」「学に勉む」が今の自分にとって一番大事なことだと思いました。最近はゲームも少しやりすぎているので正せるようにしたい。勉強もテスト前だけするのではなく日々の生活でできるようにしたい。大中を引っ張るリーダーとして後輩から慕われる先輩になりたいです。

2年 吉川歩夢

2回目の総合発表会と、立志式を終え、友達だけではなくクラスを越えての協力の大切さを学んだり、劇の監督という名のリーダーがどれだけ大変なのかを感じました。感じたり、考えたりした分、達成感をすごく味わえたし、個人的にもとても良い思い出となりました。今までは保育士や建築士が夢だったけど人のために何か企画して、人の幸せを自分も味わえるような職業についてみたいという新しい夢を見つけることができました。次は、その夢に向かっての進路や努力の仕方をこれから見付けていきたいなと思い、新たな目標ができました。このままでは目標を乗り越えられないので、目標から逆算して日々の生活を頑張っていきたいです。

2年 三宅遥香

立志式を終え、またさらに3年生への道が近くなりました。2年生だからという甘えをもう断ち切らなければいけません。3年生になったら自分の人生を示唆する受験をしなければなりません。そのことを考えていると前に進むのが少し怖くなります。誓いの言葉に「志立つ」とあり、それはこの式で改めて自分の志を揺るぎなく定めることだと思います。人は目標がなければ頑張れません。ゴールが分からないからです。だからまずは小さな目標でも良いから自分のできていないことをなくしていこうと思います。自分の雑心を去り、受験に頑張って踏み込んでいきたいです。

2年 糸田真唯

私が劇で自分が言ったセリフのように私は私だけの生き方をしたいと思いました。立志式でいつものみんなが少し大人になっていたの自分も「もっと成長しないと」感じました。東京オリンピックが終わったら、日本はまた新しく動き始めるし、自分たちが大人になった時にはAIなどが人間が行っていた仕事をどんどんやっていくと思うので、AIや機械に負けられないようにしたいです。これからは苦手な教科を優先して勉強して夢を叶えたいです。

2年 松葉瀬 亜紀

僕は立志式を終えて、最初に感じたのは、もう中学校生活も多くはないんだ、このメンバーとも、もうちょっとしか過ごせないんだと感じました。3年生になったら、多分仲間とも遊ぶことも減るし、みんな勉強に専念すると考えたなら、実際は後2、3ヶ月しかないんだと実感しました。僕はまだ明確な進路は決めてないし、将来に何になるかも定かじゃありません。でも、今回の立志式で、もう時間がなくて気が付き、少し焦った自分がいました。来年の今頃は私立の受験も終わり、皆、喜んでるはずなんです。自分もその喜んでるみんなの一員になるために、もう一度勉強をちゃんとやろうと思いました。この立志式で、僕は勉強をしっかりと絶対に対に笑うという目標ができました。この目標に向かって残りの時間を大切にしていきたいです。

2年 野元周亮



「啓発録」を執筆した
橋本左内肖像画
福井市立郷土歴史博物館蔵

生徒達の素晴らしい活躍が続いています！

大村中学校男子バレーボール部 長崎県新人大会優勝！

新メンバーによる最初の県大会となる2019年度長崎県中学校バレーボール競技新人大会が、2020年2月1日(土)に佐世保市で開催し、2月2日(日)に決勝戦がおこなわれました。その結果、本校男子バレーボール部が出場チーム25チームの頂点に立ち、見事優勝を成し遂げました。

男子バレーボール部の選手、監督、コーチ、そして保護者の皆様、本当におめでとうございました！ぜひ、3月27日(金)～29日(日)に長崎市で開催される第37回九州中学校バレーボール選抜優勝大会でも素晴らしい試合を展開され、さらなる栄光を勝ち取っててください！応援しています！



第65回「子ども県展」

「特別賞」・「特選」・「入選」に多くの生徒が受賞しました。

県内の義務教育諸学校から児童生徒を対象に美術作品を募集し、作品展を開催することにより、①児童生徒の図画工作・美術に対する意欲・関心を高めるとともに、創作の喜びを味わわせる。また、②作品の鑑賞を通して、表現力の向上や豊かな情操の育成を図る。を目的に、「子ども県展」が開催されてきました。そして、今年度の第65回「子ども県展」においても、本校の多くの生徒が受賞することができました。本当におめでとうございます！生徒達の頑張りを紹介させていただくと共に、大きな拍手を送りたいと思います。

特別賞				特選					
版画	造形教育研究会賞	3年	峰 綾音	絵画	1年	林 愛瑠	版画	3年	弥永 蓮
				絵画	1年	山元 美舞妃	デザイン	3年	松尾 有香
				絵画	1年	澤久 陽色	デザイン	3年	木下 瑞咲
				絵画	2年	伊藤 百香	立体	2年	川淵 将聖
本校職員室前廊下に掲示されている入選作品から ※「入選」受賞者49名							立体	3年	木下 瑞咲

第19回南島原市セミナリヨ現代版画展において

「特別賞」・「特選」・「入選」に多くの生徒が受賞しました。

南島原市は、天正遣欧少年使節が学んだセミナリヨやコレジヨ(神学校のこと)が置かれた土地であり、長崎県指定文化財である銅版画「セビリアの聖母」は、有家セミナリヨ(南島原市)で日本人の手によって最初に制作された銅版画といわれています。このような銅版画技術発祥の地である南島原市で、歴史と文化のあふれるまちづくりを目指し、開催されているのが「南島原市セミナリヨ現代版画展」なのです。この版画展においても本校の多くの生徒達が受賞を果たし、その中でも特別賞に3作品が入賞するという快挙を果たしました。各種受賞、おめでとうございます！改めて、本校生徒達の美術作品制作に対する感性と技術力の高さを感じました。※「入選」受賞者 12名

特別賞				特選					
版画	長崎県教育委員会賞	1年	林 愛瑠	版画	1年	山元 美舞妃	版画	3年	田川和人
版画	NBC長崎放送賞	3年	遠藤 駿太	版画	1年	澤久 陽色	版画	3年	中村 亜紗
版画	毎日新聞長崎支局賞	3年	早崎 宇宙	版画	3年	松尾 娃社	版画	3年	池田 愛望
				版画	3年	林田 真和	版画	3年	吉田 紗彩

「特別賞」受賞作品

- 左上「不思議な鳥」
1年 林 愛瑠
- 右上「花畑」
3年 遠藤 駿太
- 左下「川」
3年 早崎 宇宙

